

ある町の 天気相談所

Vol.87 2025.03.07

令和7年3月号



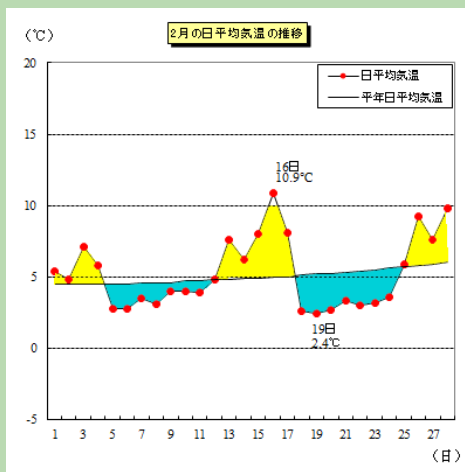
3月3日の雪

3月2日の暖かさから一転、3日は本州南岸に停滞する前線に向かい湿った空気と寒気が入ったため、気温が下がり2日と3日の日中の最高気温差は16度もありました。予想より寒気が入ったため雪となり、市役所でも1cmの積雪となりました。



2月の気候

2月は、強い冬の気圧配置が続く時期と、緩む時期が交互にありました。月平均気温は5.2度と、気温の変動は大きくなりましたが、平年並みとなりました。低気圧が進むことは少なく、晴れの日が多くなったため、月合計日照時間は207.4時間と平年より多くなり、月合計降水量は0.0ミリと。弱い雨や雪がちらつくことはありましたが、昨年12月に続き、0.5ミリ以上の雨を観測しませんでした。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

暖かい空気に覆われやすく、天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多くなる見込みです。平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並」、日照時間は、「ほぼ平年並」となる見込みです。

この冬の気候

2024年(令和6年)12月から2025年2月までの冬の期間の気候についてまとめてみました。気温は、冬の平均気温は6.1度と平年よりやや高くなりました。気温の差が大きくなることも多くありますが、平均すると、12月と2月は平年並み、1月は平年より高くなりました。日最低気温が0度を下回る冬日の日は、30日と平年よりやや少なくなりましたが、昨年よりは多くなりました。

周期的に天気は変わりましたが、冬の気圧配置と高気圧に覆われる日が多く、低気圧や前線の影響は少なかったため、日照時間は多く、降水量は少なくなりました。日照時間は、598.5時間と平年より多くなりました。

雨や雪の降った日数は、28日ありましたが、降水量は少なく、23.5ミリと平年の16パーセントにとどまり、12月と2月は月合計降水量が0.0ミリとなりました。月合計降水量が0.0ミリとなったのは市役所観測所では観測開始以来初めてのことでした。

平均風速は2.9メートル。日最大風速が10メートルを超えた日数は3日と昨年よりも少なくなりました。



天気用語の基礎知識

季節

春夏秋冬、季節の区切りについて、立春などの二十四節気を日常では使うことが多いが、統計などでは扱いづらくともあるため、気象庁では月ごとに区分している。具体的には、

「春」は3月から5月まで

「夏」は6月から8月まで

「秋」は9月から11月まで

「冬」は12月から2月まで

の期間とし、気温や降水量などの統計や、3か月予報などの季節予報に活用している。

……神峰の山から……

先月、ある学校に出前講座に行きました。出前講座は平均月1回ほど回数を行っていますが交流センターなどが多く、学校で行うことはあまりありませんでした。以前に行ったときは、気象予報士の仕事についてお話したことがあります。今回は大雨や日立市の気象災害についてのお話したので、新たに資料を作成し臨みました。時間に合わせて、伝えたいことをまとめて、生徒さん達にわかってもらえるような資料にする作業は、結構大変で、色々悩みながら作成しました。

少し詰め込みすぎてしまい、当日は省略した部分があるのが反省点です。